

大分大学医学部附属病院 乳腺外科 専門修練プログラム

1. プログラムの概略・特徴

現在わが国においては年間4万人以上が新たに乳癌と診断され、1万人以上が乳癌によって死亡している。乳癌は女性のがんによる死亡原因の1位であり、増加の傾向をたどっているがこれは今後も続くことが予想される。乳腺外科ではこれらのニーズに応えるべく乳腺専門医の養成を目指すものである。

2. 研修目標

【一般目標】

乳腺専門医として医療技術、知識の習得のみならず全人的な臨床医としての育成を目標とし、乳腺疾患の診療を実践できる医師を養成するための到達目標を定め、研修を実施する。

【行動目標】

乳腺認定医としての医療技術、知識を修練し、さらに乳腺専門医として乳腺疾患の診療を実践できる医師を養成するための到達目標を定め、研修を実施する。

3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	卒後3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
A	大学病院（乳腺、食道、呼吸器）	関連病院 [#] （一般外科）	大学病院（乳腺外科）	外科専門医取得	乳腺認定医取得	乳腺専門医取得	関連病院
B	関連病院 [#] （一般外科）	大学病院（乳腺、食道、呼吸器）	関連病院*（乳腺外科）				大学病院
C	大学病院（乳腺、食道、呼吸器）	関連病院 [#] （一般外科）	大学病院（大学院）				大学病院（大学院）

4. 評価

目標症例数

- (1) 乳癌 100 例
- (2) 乳腺症 30 例、線維腺腫 20 例、女性化乳房症5例
- (3) 思春期早発症、副乳、乳管拡張症、乳汁漏出症、周期性乳房痛（月経依存性）、乳癌、急性乳腺炎、産褥乳腺炎、乳輪下膿瘍、乳管内乳頭腫、乳頭部腺腫、腺腫、葉状腫瘍、Paget病、肉腫:これらの疾患について合計 20 例

筆頭者として1編以上の乳腺疾患に関する研究(症例報告も含む)を医学雑誌に発表、または乳癌学会を含む全国学会で発表する。

以上の目標の達成度を評価する。

5. 募集人員

5人

6. 実施責任者

川原克信

7. 指導責任者

山下眞一

8. 関連施設、学会認定状況

取得可能な資格

日本乳癌学会認定医・乳腺専門医

日本外科学会外科専門医・指導医

日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医

呼吸器外科専門医・指導医

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医

日本消化器外科学会専門医・指導医

日本消化器病学会専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会専門医・指導医

日本内視鏡外科学会技術認定

9. その他

10. 連絡先

大分大学医学部 総合外科学第2講座 山下眞一

Tel 097-586-5854

Fax 097-586-6449

mail yamashi1@oita-u.ac.jp